

環境のひろば

225号

発行者／岡山県環境衛生協会
会長 守屋新一

題字／岡山県知事 伊原木 隆太

ふるさとを
きれいに
しましょう

この広報誌は“ふるさとをきれいにする運動”を推進するために配布しております。



支部だより

倉敷市支部

くらしき環境フェアに出展

倉敷市環境衛生協議会

「くらしき環境フェア」は、毎年秋に倉敷市が主催で開催するイベントで、令和6年度も6,000人以上の方が来場されました。海上保安庁水島海上保安部や企業をはじめ、約50団体がブースを出展し、それぞれ環境に関する活動の紹介や様々なイベントが行われています。

私たち倉敷市環境衛生協議会もブースを出展し、啓発活動を行っています。令和6年度は、「教えて！わが家のごみ減量への道」と題して、家庭ごみの減量について来場者に家庭での取り組みをアンケート調査しました。回答くださった方には、水切りネットを配布し、ごみ減量化へさらなる取り組みをお願いしました。

参加者のご家庭での取り組みとしては、①マイバッグ、②食べきれぬ量の調理、③コンポストの利用が上位3位でした。

令和7年度はJR児島駅前広場周辺で11月16日（日）に開催します。

倉敷市環境衛生協議会も参加を予定しています。

みなさんも楽しみながら環境について学んでみませんか。



支部だより

岡山支部

クリーン作戦と不法投棄監視パトロール

吉備中央町環境衛生協議会

吉備中央町環境衛生協議会による令和6年度のクリーン作戦及び不法投棄監視パトロールの活動や自治会・公民館等での活動についてお伝えします。

クリーン作戦では、実施自治会により、8月と3月の年2回、公民館等では、地域住民により春から夏にかけて1～2回、国道及び町道等に投棄された空缶や空瓶、ペットボトルなどの生活ごみのほか自動車の部品などを回収しました。

12月には協議会会員による県道待避所周辺の投棄ごみの回収や投棄防止ネットの維持補修を行いました。また、町内を巡回して不法投棄監視パトロールを行い、投棄物が確認されたところでは、回収を行いました。

今後も不法投棄監視パトロールを強化しながら、自治会・公民館等地域住民と共に持続可能な環境保全活動に取り組んでいきたいと思ひます。



井笠支部

町内を走る4R啓発ポスター

里庄町環境衛生協議会

里庄町では、町内のごみステーションをパッカー車が巡り、「燃えるごみ」を週2回、また、「燃えないごみ」「缶・紙類・古布」「びん・ペットボトル・その他プラスチック製容器包装」を月2回、隔週で収集しています。パッカー車には4R啓発ポスターをラッピングしています。このポスターは、町内2つの小学校の協力を得て里庄町が実施する、3年生と4年生を対象とした「ごみ減量化・リサイクルポスターコンクール」の入賞作品です。最優秀賞1点、優秀賞3点の作品が2台のパッカー車にラッピングされます。佳作6点の作品は、町役場に設置された資源ごみ専用収集庫（ストックヤード）の壁面に掲示されます。ともに貼付期間は1年間です。里庄町環境衛生協議会では、会長がこのコンクールの審査委員会委員として関わっています。どの作品も非常に素晴らしく、児童がポスターを制作するにあたり、環境問題について学び、人々にポスターの力で訴えかけるための工夫をして、また、3年生から学び始めた英語学習の成果も反映されています。環境衛生協議会としては、人間として生きる力の基礎をつくる小学生の時代に、保護者とともに環境問題について学ぶことが、これからの町づくりを支える力になるように願っているところです。

この事業は平成27年度に開始し、本年で11回目を迎えることとなり、最初にポスター制作に取り組んだ児童は、現在20歳前後になっています。この事業が年1回の町内一斉クリーン作戦（毎年約2,000名、町民の5人に1人が参加）とともに継続できれば、と考えています。



新見支部

海ごみ・プラごみ削減フォーラム

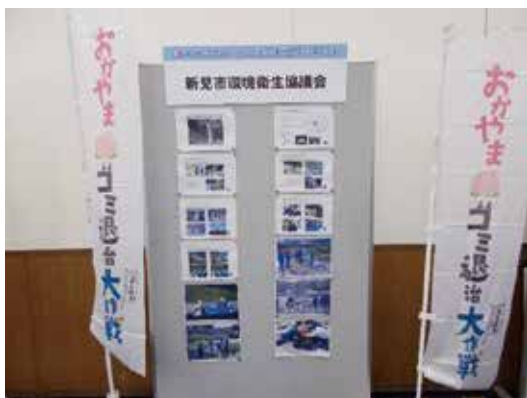
新見市環境衛生協議会

令和 7 年 2 月 16 日(日)、コンベックス岡山で開催された海ごみ・プラごみ削減フォーラムに参加させていただきました。

ごみ拾いダイビングインストラクターの東真七水さんの基調講演や漫才師の幸助・福助さんの海ごみ・プラごみ削減漫才、マジシャンの黒川遼さんの海ごみ・プラごみ削減マジックショーなど楽しいイベントの後にブース出展者による活動発表がありました。

新見市環境衛生協議会の取組として、春のクリーン作戦や秋の不法投棄一斉清掃、市内の中学生との川ごみ調査について発表しました。

当日は、28 団体がブースに出展され、様々な海ごみ・プラごみ削減に関する取組を見学することができました。他団体が取り組まれている活動を参考に本協議会でも高梁川からの川ごみが瀬戸内海に流出しないよう、引き続き川ごみ清掃活動に取り組むとともに、海ごみ・プラごみの削減に取り組んでいきたいと思ひます。



真庭支部

分別の徹底に向けた取り組み

真庭環境衛生協議会

真庭市では、焼却ごみの減量を目的に、市内全域で生ごみの分別収集を実施しています。回収された生ごみは液体肥料（バイオ液肥）として再資源化され、地域の農地に還元されることで、循環型農業の推進にも貢献しています。

この生ごみ分別を住民が迷うことなく、継続的に行えるよう、真庭環境衛生協議会では「環境美化等推進モデル事業補助金」を活用し、実践的な支援を行っています。具体的には、生ごみの出し方や収集可能なもの・不可なものを明確に示した表示をラミネート加工で作成し、各地域に設置された収集容器に貼り付ける取り組みを進めています。この表示は視認性を重視し、誰もが簡単に理解し、正確に分別できるように工夫されています。

現在は一部地域での実施にとどまっていますが、この取り組みは地域に根ざしたごみ減量と資源循環の推進を支える重要な活動として、今後も啓発活動を継続していきます。



令和7年度 定例総会を実施

令和7年度の定例総会を5月26日に「岡山コンベンションセンター」で開催しました。

来賓として、横山貴志子環境省中国四国地方環境事務所次長、笠原和男副知事、國重良樹環境文化部長を迎え、盛大に開催されました。令和6年度事業実績・決算、令和7年度事業計画・予算について審議し、承認されました。

また、議事に先立ち、環境衛生改善活動に多大の功績があった団体、個人に対し、表彰状の贈呈を行いました。

岡山県知事表彰

◆環境衛生改善事業功労・個人

西崎日佐夫 (岡山市)	近藤 憲司 (岡山市)	矢吹 滋道 (岡山市)	片山トヨ子 (倉敷市)	安田 茂 (倉敷市)
埜 俊二 (新見市)	沖藤 孝志 (倉敷市)	大西佐代子 (倉敷市)	大屋 徳敬 (倉敷市)	高森 禎一 (美咲町)

◆清掃事業功労

畑 英男 (岡山市)	山本祐一郎 (岡山市)	長島 弘典 (赤磐市)	風早 秀義 (総社市)	猪原 幸晴 (井原市)
川畑 公治 (倉敷市)	戸知 裕 (里庄町)	松浦 伸文 (笠岡市)	三宅 治 (倉敷市)	大田 雄三 (井原市)
川田 幸 (倉敷市)	中村 智之 (倉敷市)			

岡山県環境文化部長表彰

◆環境衛生改善事業功労・個人

田上 高志 (玉野市)	藤原富三夫 (和気町)	森田久美子 (倉敷市)	藤井 輝昭 (里庄町)	大本 正治 (新見市)
松本 昌和 (倉敷市)	岩崎 弘己 (倉敷市)	藤井 住雄 (倉敷市)	山口 武志 (倉敷市)	亀田 紀子 (倉敷市)
片岡 由美 (倉敷市)	岸本 常義 (津山市)	近藤 信彦 (美咲町)	吉田 裕司 (真庭市)	初本 智 (真庭市)

◆清掃事業功労

富尾 康治 (岡山市)	片山 嘉治 (岡山市)	寺尾 幸治 (倉敷市)	寺尾 剛 (倉敷市)	中島 英典 (岡山市)
延原 公 (備前市)	万波 雅敬 (和気町)	甲斐 博文 (岡山市)	西本 光治 (倉敷市)	古賀 政彦 (笠岡市)
山本 浩之 (倉敷市)	川上 智嗣 (総社市)	小野 和重 (笠岡市)	柴田 卓士 (倉敷市)	山室 廣行 (高梁市)
篠永 広明 (倉敷市)	河野 文雄 (真庭市)			

岡山県環境衛生協会長表彰

◆環境衛生改善優良地区

・東菅野町内会 (岡山市)

◆環境衛生改善地区育成功労

有元 純一 (岡山)	坂上 良一 (岡山)	梶原 満男 (岡山)	吾浦 博 (岡山)	西谷 武義 (岡山市)
安井 修治 (岡山市)	藤巻 笑子 (東 備)	大饗 庄三 (東 備)	上化田正美 (東 備)	山本 力 (東 備)
草加 善弘 (東 備)	井上 一義 (倉敷市)	黒明 二郎 (倉敷市)	河田 長一 (倉敷市)	田邊 雅大 (倉敷市)
橋口 京子 (倉敷市)	後藤 保美 (倉敷市)	細川 啓一 (井 笠)	武 晃良 (井 笠)	田中二三一 (井 笠)
中務 敏男 (井 笠)	高橋 信生 (井 笠)	田邊三佐代 (井 笠)	西村 邦雄 (新 見)	萬代 哲司 (津 山)
立石 徹 (津 山)	西本 章義 (津 山)	布野 行男 (津 山)	富山マリ子 (津 山)	

◆清掃業務従事功労

藤原 靖典 (岡山)	川田 正志 (倉 敷)	福岡 正志 (倉敷市)	松井 英史 (倉敷市)	定森 正徳 (倉敷市)
篠永 徹 (倉敷市)	守谷 健一 (倉敷市)	吉田 光宏 (倉敷市)	藤川 泰久 (井 笠)	田邊 泰宏 (井 笠)
坂本 健 (井 笠)	山本 滋久 (井 笠)	大月 克浩 (井 笠)	石川 侑暉 (井 笠)	藤原 啓行 (井 笠)
岩元 博 (新 見)	岩元 潮美 (新 見)	林 正裕 (新 見)		

(以上、敬称略)

リチウムイオン電池を捨てる時はご注意ください!!

岡山県環境文化部循環型社会推進課一般廃棄物班

リチウムイオン電池は、強い衝撃が加わると発煙・発火のおそれがあります。

ごみの破碎工程に混入すると、大変危険です。

全国の廃棄物処理施設で、火災が多数発生しています 🔥🔥🔥

リチウムイオン電池・電池使用製品の判別方法



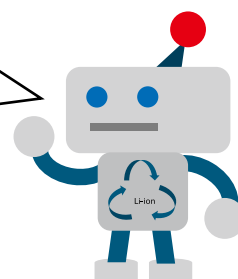
リチウムイオン電池本体には、リサイクルマークが表示されています。

※電池使用製品には表示がなくても、「充電できる製品」や「電源につながなくても動く・光るなどする製品」には、リチウムイオン電池が使用されている可能性があります。

リチウムイオン電池が使用されている製品の具体例



- ・リチウムイオン電池やリチウムイオン電池が入った製品を廃棄するときはお住まいの市町村のルールに従って捨ててください。
- ・できるだけ、電池を使い切った状態で捨てましょう。
- ・電極部分にテープ等を貼って絶縁して捨てましょう。
- ・事業活動により排出されるリチウムイオン電池は、処理可能な産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。



浄化槽を設置・使用されている皆様へ

岡山県環境文化部循環型社会推進課一般廃棄物班

浄化槽は維持管理が大切です

美しく豊かで快適な水環境を守るため、浄化槽を使用・管理している「浄化槽管理者」の方は、浄化槽の適正な維持管理（保守点検、清掃及び法定検査）をする義務があります!!!

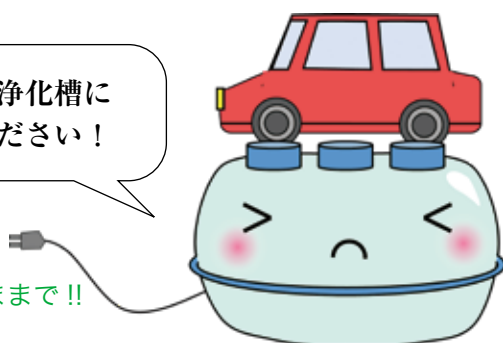
浄化槽は、微生物の働きを利用して、トイレ排水や生活雑排水の汚れをきれいにし、川などへ流していますが、浄化槽は一度設置をすれば放っておけばいいというのではなく、適正な維持管理を行わなければ、汚れたままの水が流れ出てしまいます。浄化槽はきちんとチェックやメンテナンスを受けてこそ、その浄化能力が十分発揮できるので、維持管理が適正に行われているか確認をお願いします。

浄化槽に関する詳細は、下記 QR コードを読み取り岡山県環境文化部循環型社会推進課ホームページを参照してください。

フタの上に重いものを置かないで!!

日頃から自宅の浄化槽に関心をもってください!

電源はいれたままで!!



【ホームページはこちら】



©岡山県「ももっち」

稲わらは焼かずにすき込んで、土づくりと大気環境保全につなげよう!

岡山県環境文化部環境管理課

野焼きは大気汚染物質 **PM2.5 の原因の一つです。**

PM2.5とは、大気中に漂う2.5μm（髪の毛の太さの約1/30）以下の小さな粒子のことで、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系や循環器系への影響が心配されています。

稲わらは焼かずにすき込むなどの有効利用を!

県では、稲わらの野焼きに伴うPM2.5濃度の上昇を改善するため、稲わらは焼かずにすき込むなどの有効利用を促進する取組を行っています。岡山県のホームページに稲わらのすき込み方法等を紹介した動画やパンフレットを掲載していますので、ぜひご覧ください。

〈取組紹介 HP〉



〈稲わらのすき込み方法等を紹介した動画〉



稲わらのすき込みは土づくりにつながります。また、火を使わず安全で、煙の心配もなく、さらに大気環境の保全にもつながります。

空気が澄んだ「晴れの国おかやま」の青空を守るため、稲わらの有効利用にご協力ください!

3年に一度のアートイベント「美作三湯芸術温度2025」開催中です!

岡山県環境文化部文化振興課

TEL: 086-226-7903

岡山県北にある西日本有数の温泉地である美作三湯(湯原、奥津、湯郷温泉)の温泉宿等に県内外のアーティストが作品を制作・展示する回遊型アートイベント「美作三湯芸術温度2025」が開催中です。

彫刻や絵画のほか、日用品を使ったインスタレーション作品や、施設の一部を使った作品まで、30組31名のアーティストが、3つの温泉地の27か所の施設に様々な作品を展示しています。「温泉にアートがある」というここでしかできない体験をお楽しみください。

開催期間は12月7日(日)までで、鑑賞は全て無料です。三湯の展示施設や観光案内所では、アーティストや温泉地を詳しく紹介したハンドブックを無料配布していますので、ハンドブックを片手に温泉地を周っていただき、是非お気に入りの作品を見つけてみてください。

美作三湯芸術温度
ホームページ

“生活排水の処理は浄化槽で”

一般社団法人

岡山県浄化槽団体協議会

〒703-8282 岡山市中区平井 1097
電 話 086-276-8585
FAX 086-276-9081



公益財団法人 ～心も体も健康に
岡山県健康づくり財団

【環境事業】 ○飲料水、河川水、排水、浴槽水などの水質検査

○食品検査 ○腸内細菌検査

【検診事業】 ○健康診断、がん検診など

本 所 〒700-0952 岡山市北区平田 408-1
TEL(086) 246-6257 (環境部)
TEL(086) 246-6256 (保健部)
北部オフィス 〒708-0016 津山市戸島 634-40
TEL(0868) 28-1132(北部環境企画課)
TEL(0868) 28-2232(北部検診班)
☎ホームページ: <https://www.okakenko.jp>





目標6：安全な水とトイレを
世界中に

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ

～ 未来の子供たちへ豊かな地球を ～

公益社団法人倉敷環境検査センターは、浄化槽法はもとより公益法人関係法令の趣旨を踏まえ、公共用水域の水質保全等、県民の生活環境の確保及び公衆衛生の向上に資するための事業推進に取り組めます。

水の好循環で、人・街・自然に豊かな潤いを!



岡山県知事指定浄化槽検査機関
公益社団法人倉敷環境検査センター

会 長 山 田 英 基

710-0038 倉敷市新田 2322-8

TEL (086) 426-6841 FAX (086) 425-6090

新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。

地域に根ざした活動を引き続き行っていくため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。地元で行われている清掃活動や不法投棄防止運動等へのご支援をお願いします。

1口1万2千円で、1口から入会できます。希望される賛助会員の方は機関誌「環境のひろば」に広告（掲載料2万円）を掲載することができます。

岡山県環境衛生協会事務局(岡山県環境文化部循環型社会推進課内)

岡山県岡山市北区内山下2-4-6

TEL.086-226-7307 FAX.086-224-2271

「環境のひろば」は当協会のホームページにも掲載しています。

(<https://www.pref.okayama.jp/page/462962.html>)

お問合せ先